

令和6年度 北嶺中・高等学校 学校関係者評価・自己評価

学校法人希望学園

北嶺中・高等学校

校長 谷地田 穰

1 本年度の重点目標

- (1) 「6ヶ年一貫教育」により、合理的な教育課程を編成する。
- (2) 「少数主義」により、英才の育成と家族的な連帯感を重視する。
- (3) 「寮生活（希望者）」を人格形成の場とし、自主的学習と互惠精神を育てる。
- (4) 「規律・責任・礼儀」を重んじ、日常の正しい生活態度を身につけさせる。

2 自己評価・学校関係者評価（保護者含む）の結果概要と今後の改善方策

評価方法：A「よく達成されている」、B「ほぼ達成されている」、C「やや不十分である」、D「不十分である」

分野	評価項目	学校関係者評価	自己評価	改善の方策
学習指導	生徒にとって質の高い授業を行い、学力の向上を図っているか。	A	A	【学校】授業内容については、全般的に保護者、生徒からは高い評価を得ているが、さらに質の向上、個々の教師の指導力の向上を目指していく。また、講習や添削指導も含め、生徒の学力向上に向けた取り組みを充実させていく。生徒の授業への積極的な参加姿勢の醸成に努める。
生徒指導	学校での集団生活を通して社会を構成する一員としての自覚を持ち、行動できる生徒を育成しているか。	B	B	【学校】いじめに類する事象の根絶と抑止に継続的に努める。全教員が生徒・保護者との情報交換に努め、安心・安全な学校生活ができるようにさらに取り組んでいく。公共の場のマナーについて北嶺生としてのプライドを持って行動できるような働きかけをしていく。 【学校関係者】生徒間のトラブルが皆無というわけではない様ではあるので、Aとはしませんでした。全体として特に問題がある状況とは考えていません。
進路指導	生徒の進路意識の高揚を図り、進路希望の実現に向けて効果的な取り組みを行っているか。	A	A	【学校】先輩の成績・進路・学習方法に関する長年蓄積したデータを冊子化し全生徒に配付。進路実現へのバイブルとして活用されている。さらに生徒・保護者への進学・進路に関する情報を効果的に発信できるように取り組んでいく。生徒向けガイダンス、面談をさらに充実させていく。
特別活動	学校行事や部活動を通じて、生徒が充実した学校生活を送れるよう努めているか。	A	B	【学校】本校独自の行事である柔道大会・ラグビー大会・登山、さらには海外修学旅行等を通じて生徒達の達成感や充実感をより高められるように取り組んでいく。各種行事運営も生徒が主体となって進められるように助言していく。
広報連携総合	ホームページや学年便り等で学校の教育活動や情報を積極的に発信しているか。	A	A	【学校】ホームページやSNS「X」を活用した迅速な情報発信、保護者一斉配信システム「まいば」を活用した、こまめな情報の発信を心掛けており、保護者からも高い評価を得ている。さらに適切な情報発信に努め、迅速かつ正確な情報伝達を充実させていく。
	保護者が参観授業・保護者懇談会・各種説明会などに参加してくれているか。	A	B	【学校】参観日だけではなく日頃の様子を発信する機会を増やしていく。また、生徒向けの取り組み（カルチャータンや講演会等）でも保護者が来校できる機会を増やしていきたい。 【学校関係者】全国から生徒が集まるという特色から、必ずしも保護者が参集する機会が多いとはいえないかもしれませんが、様々な場面で皆さん積極的に参加してくださっていると思います。
	学校は生徒や保護者の期待や要望に応えているか。	A	B	【学校】要望は個々に多岐に渡るが、生徒が日々充実した学校生活を送ること、そしてその上で学力向上を通じての進路実現、この2点が生徒と保護者からの大きな期待と要望である。一人でも多くその期待に応えられるようさらにきめ細かい指導に取り組んでいく。 【学校関係者】一例を挙げると、食堂のクオリティについて保護者の中から出ている意見をお伝えしたところ、業者の変更などの対応をいただきました。たいへん大掛かりな対応が必要だったと思いますが、特に寮生の健康・成長にも直結することであり、寮生の保護者を中心に、対応に感謝し、安心している方が多いと思います。
	子供を入学させて魅力ある学校か。	A	A	【学校】総合的に、高い評価を得ていると考える。進学実績のみならず、9つの探究型プロジェクトも充実し、生徒の探求心を育成していくことにより、本校の魅力をさらに高めていく努力を継続していく。

※「学校関係者評価」は、保護者のアンケート集計結果と、学校としての「自己評価」に対し、学校関係者評価委員会（父母の会会長等の外部団体代表者等で構成）からの助言を元にしております。